

Rotary 

2024~2025年度 ステファニー・A・アーチック RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2025年2月6日(3527例会)(創立74周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3441

■呉 RC 2024~2025 年度テーマ 『時代と共に、未来へ進もう=DX・見える化に取り組もう=』

会長 長行 事義人
 副会長 石田 直樹
 直前会長 大上 功
 幹事会
 佐藤 政秀
 勝坂 省吾
 会長エレクト 山村 貞夫
 会場監督 太刀掛 祐之

〈事務局〉 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12
 呉商工会議所ビル南館7階 705号室
 ☎ (0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 〈例会日時〉 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

2月 6日 (木)

国際奉仕委員会担当例会

外部講師

呉市国際交流協会 交流推進員 竹下 麻子 様

次週のメインプログラム

2月 13日 (木)

休会

2月 20日 (木)

ロータリー創立 120周年記念 4RC 合同例会
 ク莱頓ベイホテル 3F 12:30~14:00
 中国放送 アナウンサー 田村 友里 様



Facebook



Home page

第 3526 例会記録【1月 30 日(木)】

【プログラム】出席・プログラム委員会担当例会

外部講師

広島電鉄 株式会社 代表取締役社長 仮井 康裕 様

【出席率】前々回 休会 今回 61.97% (会員74名・欠席27名・免除3名)

【来客】◇外部講師

広島電鉄 株式会社 代表取締役社長 仮井 康裕 様

【他クラブ出席者】◇福田・谷口(彰)君(1/14呉南) 福田・谷口(彰)・長尾君(1/15呉東) 大村・長尾君(1/22呉東)

大之木(精)君(2024-25年度第3回諮問委員会) 福田・大之木(小)・谷口(彰)君(1/30江田島) 11名

【欠席者】◇青山・伊藤・稻葉・岩本(浩)・大塙・大之木(小)・大之木(精)・大之木(伸)・大村・勝坂・佐々木・繁田・島村・菅原・武田(信)・太刀掛・谷口(彰)・谷口(好)・田原・長尾・平原・福田・藤井・古川・堀口・松田・和田君 27名

【出席免除者】◇海生(孝)・武田(保)君 2名

【幹事報告】◇RI第2710地区 2024~2025年度 地区ローターアクト代表 福谷 総大 様…国際ロータリー第2710地区ローターアクト第48回年次大会 仮登録のご案内(回覧)

◇RI第2710地区 2024~2025年度 地区ローターアクト、徳山ローターアクトクラブ会長福谷 総大 様…徳山ローターアクトクラブ創立50周年記念式典 仮登録のご案内(回覧)

◇例会変更のお知らせ…2/20(木)ロータリー創立120周年記念4RC合同例会の為、
 12:30~14:00 ク莱頓ベイホテル3Fで開催

【委員会報告】◇職業奉仕委員会 神垣 和典 委員長…5/22(木)担当例会のお知らせ

【S.A.A】◇八木 康夫君…広島電鉄にお越しいただきありがとうございます。広島駅の工事も佳境を迎え、皆様の期待も高まっていると思います。大きく変わる広島のワクワクと一緒に感じただければ幸いです。

◇神垣 和典君…先週の職業奉仕担当例会は島村 副委員長の娘婿さんN H K 松山局の伊賀デスクをお迎えして無事終わりました。北京駐在の丸3年間がコロナ禍で、市民生活等のお話ももっと聞きたかったので30分ではもったいなかったです。ありがとうございました。

◎ニコニコ基金金額 6,000円 (累計金額 1,058,000円)

『呉空襲の証人』



中崎 誠

呉乾物株式会社は1938年（昭和13年）10月、当時の呉市内の卸売人有志が合同して設立した会社です。

当社は、太平洋戦争末期の1945年（昭和20年）7月1日未明の呉市街地大空襲で焼け残った金庫を今も現役で使用しております。熱で溶けた鉄の生々しい爪痕が金庫の側面に残っていて、当時の空襲の威力が伝わってきます。

呉市街地大空襲があった昭和20年当時、金庫は現在の呉市中通1丁目にあった中通市場の事務所に置いてありました。横幅0.94メートル、奥行き0.82メートル、高さ1.75メートルで、重さ約1.2トン。左側面の一部が焼夷弾の熱で溶け、凹凸ができています。鉄にはいろいろ種類がありますが、大半は1,500度で溶け出すそうです。



金庫は1938年の会社設立時には既に当時の中通市場にありました。空襲前に入っていた株主総会議事録や決算書などは無事でした。今も契約書や保険証書などの書類と一緒に保管し、現役の金庫として使っています。

軍港都市だった呉への攻撃は1945年3月19日が最初で、5、6、7月までに計6回、大規模な空襲がありました。市の記録では、犠牲者は約2,000人に上り、7月1日深夜から翌2日早朝にかけてが最も規模が大きく、市街地は壊滅的な被害を受けたようです。当時、四つ道路にあった実家もこの空襲で全焼し、家族は天応に疎開しました。

本社は空襲で全焼しましたが仮店舗を海岸通りに移して終戦まで営業。戦後は呉市中央卸売市場が開市するのに合わせて築地町へと移転し、1982年から現在の光町の呉市地方卸売市場に事務所を構えております。

移転を繰り返しても決して曾祖父、祖父、父と先人たちは金庫を手放しませんでした。そこにはあの空襲を体験した者にしか分からないことがあるのかも知れません。今では戦争を経験した人が高齢化し、呉市街地大空襲を語り継ぐ人が減っています。当社はこの焼け残った金庫を今後も使い続けることで、空襲の恐ろしさ、焼け跡の記憶を伝えていきたいと考えています。